

第4回 学校運営協議会 議事録

第3回：令和5年度 学校運営協議会（発信者ごとの要点議事録）
日時：令和6年 1月20日（土曜日） 14：30～15：30
場所：西東京市立田無第二中学校 会議室
出席者：折田 和文（会長）、真鍋 五十鈴委員（副会長）、勇 昇一委員、 一之瀬 裕幸委員、本間 孝子委員、小林 あすか委員、矢野 尊久委員、 南川 広幸委員 欠席者：永井 昌史委員、澤頭 千恵委員 10人中8人の出席により、本会議は成立。
<p>次第1 校長挨拶</p> <p>・本日はお忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます。今年度の会議も今回を含めてあと2回となります。次回最終の議題には学校評価がありますのでどうぞよろしくお願ひいたします。また、本日は生徒作品展を開催しておりますので、後ほどご覧いただければと思います。</p> <p>次第2 議題</p> <p>副校長：議事録作成の効率アップのため、アプリとボイスレコーダーを併用し記録させていただきますのでよろしくお願ひいたします。</p> <p>（1）第三回議事録 議事内容確認</p> <p>副校長：第三回議事録のご確認をお願いしたいと思います。修正や何か気になる点がございましたらお知らせください。毎回、会議開催後すぐに議事録を作成したいと思っているのですが、今回も遅くなってしまい大変申し訳ございません。特に修正もなく皆様うなずいていらっしゃるようなので、確認したということでもよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、ここからは会長にバトンタッチさせていただきます。</p> <p>会長： それでは次の議題の「保護者アンケート及び授業アンケート」に移りたいと思います。</p> <p>（2）保護者アンケート及び授業アンケートの結果について</p> <p>校長： 私の方から簡単に説明させていただきます。アンケート資料が3枚ありますが、前期と書いてあるものは前回お示ししたもので今回との比較のために再度配布しました。前期よりも良くなったところもあり、また極端に大きく悪くなっているものではなく良かったと思います。統計上の誤差と考えられる範囲内でしたので、良くなっているところだけよく見ていただきたいと思います。</p> <p>・生徒授業アンケート1の各9教科に対して「授業は生徒主体となる活動を取り入れているか」は、かなり良くなっています。前回は70.0%で今回は78.0%となり非常に良くなっています。特に一年生は伸びが大きいですが、全体的に伸びていると言えます。</p> <p>・生徒アンケート2の「授業の終わりに振り返り活動があるか」は授業の終わりに何を学んだかとか、今日の学習でやったことをもう一度確認し合うという活動に関しても増えています。前回は全体36.1%だったが、今回は50.9%で非常に良くなっていることがうかがえます。今回「だいたい振り返り活動はある」という項目33.0%も含めると、トータル的に各学年もかなり上がっています。</p> <p>・生徒授業アンケート6の「先生は授業の規律を守らせているか」もだいたい授業をうまく学んできていると感じます。こちらも前回と比べて各学年も上がっています。</p> <p>・生徒授業アンケート1の「この教科が好きですか」も素晴らしいです。若干ではありますがこれも上がりました。前回37.2%で今回は39.4%でした。ちょっと悪くなっているものもあるのですが、「順調に子供たちは成長してきて</p>

いるのかな」という感じで、こちらのグラフを理解していただければと思います。

それほど極端に悪くなっているものはないと理解しています。

それからもう一つの「令和5年度保護者による学校評価アンケートのまとめ」ですが、2月の「学校だより」に掲載し地域や保護者には配布を予定しています。外部の方に配布するのは今回が初めてとなります。

「令和5年度保護者による学校評価アンケートのまとめ」の裏面下方にクモの巣グラフ「満足度」を見ていただきたいのですが、19番と11番が落ち込んでいます。各項目は19番が「保護者の学校の教育活動に積極的に協力している」で、11番が「宿題や課題は適切で、学習習慣が定着してきている」ということで2項目入っているのですがどちらでのかいとうになるのかは分かりません。保護者からよくご相談いただいていることは、宿題の量が9教科の中で集中する時があり、子供の負担が大きく感じる場合があります。小学校と違い担任制ではないので、たまたま量的にも多い宿題が重なることがあり、調整が難しい時があるお聞きしました。今後、学年でこの課題を相談しながらやっていこうと考えていますが、反省点と言えると思います。

それから学習習慣の定着ですが、自分のお子さんにまだまだ勉強をしてほしいという保護者の気持ちも現れているのかなと思います。この項目には2つの項目が含まれているため判断しようがないのですが、どちらにしても宿題の件も併せて、学習習慣の確立というところで、こちらのグラフ結果になっています。

項目19番の方ですが、保護者自身も教育活動にもっと参加しないといけないという反省も踏まえて書かれているのかなと思います。コロナ禍でなかなか保護者と共に協力していくという面で、今までの伝統が若干欠けてきているように感じます。PTAの方にもいろいろと放課後自習教室、運動会、合唱コンクールや卒業式などの式典などご協力もいただいておりますが、そういうところで少しずつ増やしていきたいと思っています。

ちょっと早口になってしまいましたが、あとはグラフを見ていただければと思います。細かい分析を行い、「学校だより」の方で掲載したいと思います。

以上です。

会長： 委員の方、何かありますか。

委員： 2年生の保護者アンケートの回収率が悪いと聞きました。

校長： 昨年度からアンケートはウェブというか、QRコードで行っているのですが、実は回収率が全体で50%を切っていました。50%以上を集めようと声掛けをして、一年生とかは70%まで増えました。紙媒体に比べると若干「後でやればいい」という感じになるのか、3回くらい一斉メール配信とかで声掛けをしましたがかなかなか回収率が上がりませんでした。紙媒体に戻した方がよいのかとも考えましたが、今はこれをうまく課題として捉えながら回収率をアップしていくしかないと考えています。今更、紙媒体に戻すことはこの時代に逆行することになると思います。

委員： 呼びかけても、この程度の回答率だったということですね。

会長： なんとも言いようがないですね。

副校長： 聞きたいことは結構あるので、もしかしたら3つくらいの質問であれば回答率は上がるのかもしれませんが。回答には2、30分以上の時間がかかる上、質問が20個もあるのでそこも関係しているのかも分かりません。ただ、この聞きたい項目のどれを省くかも難しいところではあり、この回答率アップに関して悩んでいるところです。

委員： 関心がないわけではないのですが、面倒くさいというところでしょうか。

会長： 最終的にはもう一回やるのですか。

校長： 以前作成した学校評価の方で、この一部を利用するものもあります。それは各担当者が目標を立てて作成した項目から取ったり、独自のアンケートを取るかもしません。

### (3)田無二中 ペンキ塗りプロジェクトについて

副校長：では私からこの資料を基に少し説明をさせていただきます。

今年度はまずは持続可能な取組にするために予算を確保した上で、ご指導をしていただく方々に謝礼をお支払いできればと考え、予算獲得に応募しましたが、残念ながら落ちてしまいました。ただ、取組としてできれば継続したいと思い、何とか市の予算からペンキ代金3万円くらい出して貰えることになりました。校内を見ていただければわかると思いますが、階段の壁面があまりきれいではないので、マスキングテープを貼りその下を可能な範囲でペンキ塗りをしていき、毎年継続的に少しずつやっていけば良いと考えています。時間帯も前回と同様に午前中に準備から作業、片付けまで終われば良いのかなと思います。あとは日程ですが、昨年度は卒業式の後に日程を組みました。同時期を考えるのであれば、今年度の卒業式は3月19日なので、次の日の20日春分の日か23日土曜日午前中か24日日曜日あたりとなりますが、23日土曜日午前中には吹奏楽のコンサートが開催される予定なのでできれば避けたいと思います。よろしければ20日もしくは24日日曜日のいずれかの日で皆様のご都合をお聞きしたいと思います。日程が決まり次第、副会長にチラシ等を作ってください、各分野で声掛けなどしていただき募集をかけたいと思います。今年度はこのように考えていますがよろしいでしょうか。

会長： 昨年ご指導をいただいた塗装店の方にはお願いするのかわ。

副校長：昨年と同様に予算がないので、今年もボランティアで参加をお願いするわけにもいかない。今年度もペンキ塗りをする旨だけはお伝えするつもりです。

会長： 指導する方がいなくてもペンキ塗りはできるのかわ。

副校長：私の経験として、ローラーを使用してペンキ塗りをする方法だとそれほど難しくはないと思う。ある程度はきれいに塗ることは出来ると思う。昨年お願いした塗装店の方にはボランティア参加というより、ペンキの調合をお願いするつもりでいる。

校長： 昨年は塗装店の方には懇切丁寧な指導をいただき大変にお世話になりました。今年も失礼のないようにもしお時間があるようでしたらご指導をいただきたいと考えています。今年は昨年のノウハウがあるので簡単な技術指導だけボランティアとして教えていただければと考えております。時間調整が難しい場合でも、ペンキの調合だけをお願いする予定ですので、3万円以内で調達できる分量を聞いていただけますか。

会長： 失礼のないように、今年度のペンキ塗りの状況をお伝えいたします。

副校長：予算獲得で可能性の高い方を選択するとしたら、来年度は5月に開催する同窓会総会までに資料を準備して予算を確保したいと考えています。同窓会で予算が取れなかった場合はその後、市の募集にかけてみようかと思っています。

会長： 予算3万円でのどのくらいできると考えますか。

副校長：刷毛とかバットは使った後に洗えば、来年度も使うことが出来ると思います。

委員： たとえば、PTAで来年度まで予算を立てるのであれば、学年でやるということで学年費から少しずつ出すこともできますか。

副校長：ただ、PTA会費も少しずつ下げていこうという動きもあります。

委員： 生徒たちがペンキ塗りに関わることで学びなどがあることが分かれば認めてもらえるかと思いますが、それを浸透させるのには時間がかかると思います。

副会長：それでは来年度は同窓会費でまずは予算申請をするということですね。

委員： 例えば、これを機に田無二中の一大イベントにして、ペンキ塗りの費用をバザー

とかで工面するために生徒たちが関わることでPTAも一緒に参加することになると予算が取りやすいのではないかと考えられます。ダイレクトに予算を引き出すのは厳しいと思います。

副校長：ペンキ塗りプロジェクトのまとめを確認だけさせてください。まずスケジュール調整をしたいのですが、まず会長から塗装店の方にお声がけしていただき、スケジュールの3月20日春分の日案か、3月24日日曜日案のご都合を聞いていただくということで良いですか。

会長：どちらの日程も都合がつかない場合は、事前に下見をしていただきご指導をいただくということで進めて良いですか。

副校長：塗装店の方がどちらの日でも良いとか、都合がつかない場合は、まずはA案を進めて、例えば、大雪が降ったりして順延になった場合は3月24日日曜日案で実施ということで良いですか。

〈全員賛成〉

ありがとうございます。日程が決まりましたら、副会長さんに連絡を差し上げてチラシの作成をお願いすることになると思います。私からは以上です。

副会長：去年は学校でチラシ配布をしていただいたので保護者の方の参加があったと思います。やはりチラシがありきでお願いするというのが参加者を募る上では有効だと思います。もちろん昨年の参加者には私から連絡を差し上げるつもりです。

副校長：次回の学運協が2月28日にありますが、チラシ配布はスケジュール的にそれ以降で間に合いますか。

副会長：少なくとも3月上旬には配布したいと思います。

委員：3年生はその時期は受験なので、3年生も参加するならば、たぶん3月に入ってから配布の方が3年生的には安心だと思います。多分安心してからでないといけないと思います。

校長：そうすると都立の合否発表の後になりますね。

委員：うちの会社の社員でもお子さんが結構こちらの中学校に通われているので、チラシを掲示することはできます。ただ今年3月20日は出勤日になっているのでどうなるかわかりませんが、呼びかけだけはしたいと思います。

副校長：募集で微妙な問題なのが、参加者が50人とかになったりした場合、コテとかのペンキ道具の用意が難しくなることもあるかと思いますが。去年は25人だったので何とか予算内で収めることができましたが、あまり人数が増えすぎても道具が用意できないとか、交代制にしなければならないとかの心配もあり、皆さんの受け止め方が心配でもあります。

会長：大丈夫だと思います。19日が卒業式で次の日が実施日ということですが学校側の準備は大丈夫ですか。

校長：式典後にすぐ片づけてしまうので、全く問題はありません。

#### (4) 各委員より

会長：議題(4)の各委員お一人2分ほど一言お願いしたいと思います。発言はございますか。見学にはどのくらいの時間を予定していますか。

校長：見学には一応30分弱を予定しています。この会議を含めて1時間を予定しています。

会長：すでに30分以上過ぎてしまいましたので、皆さん何かありましたらお願いします。

委員：今日皆様にチラシを配布させていただきましたが、令和6年4月に「谷戸まつり」というイベントを開催いたします。谷戸公民館の近隣の小学校中学校のご協力のもとに第36回ということで36年続いているお祭りとなります。今年はコロナという文字もなくなったということで焼きそばやラーメンなどの飲食も可能にし、盛

大な祭りにしたいと実行委員会も動いているところです。地域のお祭りなので地域でボランティア募集をお願いするため、皆様にチラシを配布させていただきました。昨年は大学生も含めて80人くらいのボランティアにご協力いただき盛大なお祭りになりました。今年は飲食も加わるため、80人から100人くらいのボランティアを募集しています。お知り合いの方などにお声掛けをお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

会長： ボランティアは他にもどのような形で募集しているのですか。

委員： 各学校の校長先生に実行委員がご挨拶に伺い、ボランティア募集をお願いしたり、市役所の広報を使ってラジオに出たり、チラシ配布をしたりしています。商店街さんや地域の方々のご協力も得なくてはいけないかなと思っています。

会長： にしにしnetの方にも連絡がありますよね。

その他に何かありますか。

委員： PTAからは、2月20、21、22日にまた放課後自習教室を開催する予定になっています。昨年12月に1年生と2年生に放課後自習室に関するアンケートを取らせていただきました。まだまとめてはいないのですが、自由意見の中で「自習室がうるさい」という意見が何件かありました。生徒同士が教え合ったり話し合いながらやっている声が、静かに自習している生徒にとってはうるさく感じてしまう。これが放課後自習室の課題だと思います。PTA運営委員会で教室を分けてはどうかということをお話ししましたが、人間的な関係で難しいという結論になりました。ひとまず「放課後自習教室で子供たちに声掛けをしましょう」ということで落ち着きました。放課後自習教室の目的は「学習への取っ掛かり」と「居場所づくり」ということですが、テスト前に居場所づくりとしての放課後自習教室を並行して開催するのは難しいのかなと思います。もし可能であれば、居場所づくりとして他校で定期的で開催している「放課後カフェ」をこの地域でもやってもらえないだろうかという意見が出ているので、この件に関してご相談したいと思います。

もう一つですが、次年度に放課後自習室の見守りボランティアの人数が変わる可能性があります。この見守りボランティアを継続的・持続的にやっていく方法を考えています。例えば、卒業生にボランティアの案内を出して登録してもらうことは可能でしょうか。地域の高校生として放課後自習室の見守りボランティアに来てもらうことは可能ですか。

校長： 日程が合わないと思います。

副校長： 見守りボランティアは今のところPTAの方々を中心に対応していただいています。高校生が対応するとなると、万が一不適切な対応をしたとかの場合は誰が責任を取ることになるのか。PTAが窓口になって人選をしていただければ問題はないと思いますがどうでしょう。

誰でもオーケーということになると、生徒に関わることなので心配ではありません。

会長： 現在、放課後自習教室をやっている副会長さんは何かご意見はありますか。

副会長： 夏休み前の募集については、子供たちが休みなので誘い易いのですが、現行の保護者に募集をかけても集まりが少ないということです。その足りない人員のカバーを地域にお願いできないかということです。それであれば、私が地域の人を紹介できると思うので、当分それで様子を見ていけば良いのではないかと思います。今までも人員が足りない時は地域の方々をお願いしていました。保護者や責任者が自習室にいてくだされば、補助という形で地域の人たちがそこに入っていることはできるので、この件に関してはご相談しながら進めていきたいと思っています。

会長： 指名しませんが、他に何かありますか。

委員： 現在どこの学校で「放課後カフェ」を開催しているのですか。

校長： コロナもあったこともあり、今開催しているのは一部の中学校だけだと思います。

委員： 定期的にかけている場所があると、居場所というかお互いに教え合うということが強められるのではないかと。今は、放課後自習室は定期的に行っていて、居場所と学習のどちらも併用しています。それが試験前になると併用は難しくなると思います。

副会長： 勉強に特化した放課後自習室と居場所づくりに特化した放課後自習室ができればいいということですね。

委員： 定期的な場所が開かれていれば、試験前になれば放課後自習室で勉強するという住み分けができると思う。

副会長： 居場所づくりは本当に大切なことだと思うので、「できたらいいな」という希望はあります。それについても人員確保が問題になることですし、飲み物を提供することは別にしても今すぐは無理だと思うし、そういう場所があって地域の人と協力し合って進めることが出来たら良いと思います。

会長： それでは時間が押してきましたので、（５）その他の項目に移りたいと思います。

#### （５）その他

副校長： 2つの資料について説明させていただきます。

一つ目は西東京市で「学校生活支援員」の募集をかけたのですが募集人数が集まらなかったため、学校の方に依頼がきました。資料にもあるように、資格の欄に教員免許とか書いてあるのが少しハードルを高くしているのかなと推測します。3の勤務内容に記してある通り、学校生活の補助を行うことがメインとなります。勤務条件は一日6時間で週三日勤務となります。地域でよい方がいらっしゃったら教えていただければと思います、この用紙を配布させていただきました。

続いて、時間がないということなので急いでカラー刷りの資料について説明いたします。「学校現場にあなたの力を」と書いてあるチラシですが、東京都の教育支援機構Tproが教育に関わる人材を募集しています。地域の方にお知らせして、何か教育現場でお手伝いいただけことがあれば可能であれば参加していただきたいと思い、このチラシを配らせていただきました。何か地域で力をお持ちの方がご存じでしたらよろしくお願ひしたいと思います。

会長： ありがとうございます。本日はこれで終了ということでよろしいでしょうか。

副校長： 次回の学運協は2月28日です。学校評価などについてそれぞれの担当が来て説明をするような会となります。どうぞよろしくお願ひいたします。資料は事前にメール等でお送りできるように頑張りたいと思います。